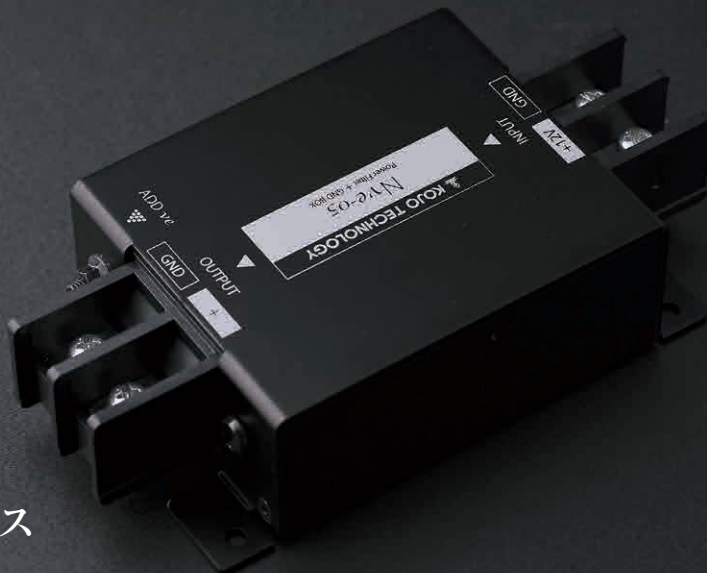


Nve-05

カーオーディオ用電源コンディショナ



電源フィルタ+仮想アース 搭載モデル「Nve-05」



「Nve-05」は現行モデル「Nve-03」の上位モデルに位置付けられ、ノイズフィルタおよび仮想アース部に
変更・改良を加えることで小型化に成功したモデルです。

M5×2

入出力端子台

Nve-05 [エヌヴァイイー 05]

標準価格 45,000円 (税別)

JANコード 4573430052445

■入出力端子台: 各M5 2端子(推奨電源ケーブル: ~AWG#4) ■仮想アース増設用端子: M5 ■入出力電圧: DC12V
■入出力電流: 100A(peak) ■外形寸法: W81×H40×D159[mm] (端子台含む) ■重量: 約542g ■カットオフ周波数: 100KHz

■利得: -60dB ■導体表面積: 22,000cm² ■付属品: マニュアル/保証書/M5標圧着端子×4個

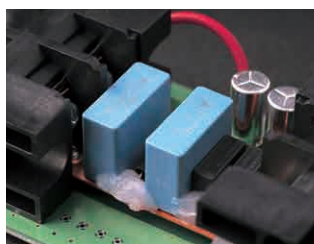
これまでのカーオーディオ用電源フィルタは、主に大容量の電解コンデンサやチョークコイルとの複合回路で形成されていました。これらはバッテリーの電圧変動や比較的低い(ノイズの)周波数帯域に対し大きく貢献、作用してきました。バッテリーの電圧変動は車載電子機器の安定稼働に影響するものであり、ことカーオーディオ機材において音質面に大きく作用するものでした。これは今なお継続的な形で市場ニーズがあります。

カーオーディオ機材を含め車載される各種制御電子機器はデジタル化が進み、車内は様々な高周波ノイズで溢れかえっています。

「Nve-05」は、こうした高周波ノイズ対策に特化するもので、高周波特性に優れたフィルムコンデンサを容量別に配列(高周波インピーダンスを低減化)し、インバータやスイッチング電源、内部クロックなどから発生されるノイズを抑制、減衰するものになっています。加えて、スティック型仮想アース「ve-02p」に採用されている特殊アルミ電解コンデンサを搭載。新型コンデンサ採用により「Nve-03」とは比較にならないほどの導体表面積の拡大を実現しています。

高性能・高信頼性フィルムコンデンサを採用

フィルタを形成するフィルムコンデンサには、高周波特性に優れ、弊社ホームオーディオ向け製品にも採用している、岡谷電機製ノイズサプレッションキャパシタ、ならびにTDK製EMIサプレッションキャパシタを採用。高信頼性パーツによる高いノイズリダクション効果が期待され、高音質化の実現に大きく貢献しています。

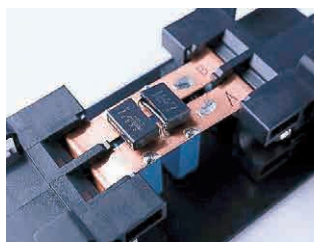


フィルタ部

ブスパー配線

フィルタを構成するフィルムコンデンサ群はブスパーに直接実装されています。フィルタ特性は、採用されるフィルムコンデンサの特性、性能に大きく影響されますが、配線ネットワークも非常に重要です。

「Nve-05」はブスパーによるストレート近接並走配線によって、パワーライン間の浮遊容量(見えないコンデンサ形成)を利用すると共に、不要なインダクタンス成分の発生を抑え、より効果的なノイズリダクション特性となっています。



ブスパー配線

仮想アース部

「Nve-05」の内部にはフィルタ機能以外に仮想アース機能も搭載されています。

「Nve-03」に採用されていた内部異金属プレート積層(仮想アース部)は撤廃され、新たに「ve-02pシリーズ」に搭載されている特殊アルミ電解コンデンサを2本採用。同コンデンサの内部導体には、帯状に加工された高純度アルミニウム箔を採用しており、見かけ上の表面積はわずか100cm²(10cm×10cm)程度ですが、導体表面の特殊エッチング処理により、海綿質構造に似た空洞が無数に形成されています。

結果的に、この無数に存在する空洞は導体表面積の拡大をもたらし、実に22,000cm²(220cm×100cm)の有効面積が確保されています。



特殊アルミ電解コンデンサ

聴感上の特性から生まれたフィルタ

ノイズリダクションという観点では、より幅広い周波数帯域に対する減衰が望まれますが、オーディオの場合、いたずらに減衰帯域を広めることは聴感上の特性(再生音)にまで影響をおよぼします。例えば「非常に(音が)クリアになったが、何だか寂しくものたりない」、「音がつまらなくなってしまった」という感覚です。

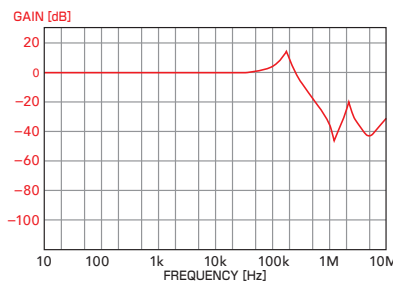
KOJO TECHNOLOGYでは、こういった状況を踏まえ聴感上の特性を重要視。試聴先行・優先型で臨み、その結果どのようなフィルタ特性になったか確認観測を行っています。

周波数vs減衰特性

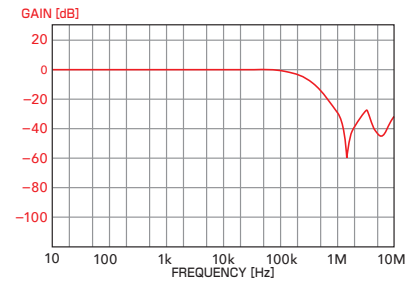
図は「Nve-03」と「Nve-05」に採用されたフィルタの周波数減衰特性です。

「Nve-03」はおよそ200KHz付近から減衰（少々共振気味）が始まり、1MHz付近において約-40dBに達しています。「Nve-05」は減衰効果が強化され、共振を抑えつつおよそ100KHz付近から減衰が始まり、1MHz付近において約-60dBに達しています。

このように「Nve-05」に内蔵されたフィルタは高性能化が図られています。



Nve-03の周波数減衰特性



Nve-05の周波数減衰特性

ve-02p/ve-02 増設端子

「Nve-05」にはADD ve端子が新規追加されています。同端子はスティック型仮想アース：「ve-02p」や、BOX型仮想アース：「ve-02」の増設用の端子となっており、追加接続することで更なる音質向上が図れるようになっています。これまでの仮想アース単体使用による高音質化もさることながら、Pureコンディメンタ：「Nve-05」の採用はこれまで以上のシステムグレードアップへと貢献してくれることでしょう。



ve-02pの増設

デザイン

「Nve-05」のNは、内部に搭載されるNoisefilter：ノイズフィルタ、veはvirtualearth：バーチャルアース（仮想アース）を指しています。TOPカバーはアルミに黒色アルマイト処理を、BOTTOMシャーシにはサテン調の黒塗装仕上げを施し、重厚かつ堅牢で高級感を持たせています。

また、電源入出力端子台の極性等に関し、視認性をアップさせるため、電気の流れをイメージした▲：INPUT、▼：OUTPUTマークをペイントしました。更に仮想アース増設用の端子には大地をイメージした⚡：ADD veマークも併記しています。

Pureコンディメンタ「Nve-05」は、KOJOTECHNOLOGYらしいクリエイティブな電源アクセサリとして、「CREATIVE POWER ACCESSORIE」の称号を得ています。



入出力の方向・視認性を高めたデザイン

音質+堅牢性を高めたボディ素材

「Nve-05」の筐体もまた仮想アースの一部として捉えることができます。筐体素材による音質への影響は高く、繰り返し行われた試作・試聴の中で、TOPカバーにアルミ、BOTTOMシャーシにスチールを採用することで音質の効果と堅牢性の両立に成功しました。



音質と堅牢性を考慮した筐体

大電流対応端子台

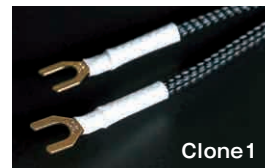
「Nve-05」の入出力に2端子の端子台を採用。電源入力の土および出力の土を備え、大容量パワーアンプにも対応できる最大定格100Aの端子台となっています。端子台ネジ部はM5サイズで、接続ケーブルにはAWG#4が推奨されます。



大電流対応端子台

推奨アースケーブル

- Clone1(クローン1)シリーズ
 - Clone2(クローン2)シリーズ
- ※いずれもKOJO TECHNOLOGY製



Clone1



Clone2



WEBサイト

KOJO TECHNOLOGYシリーズの詳しい情報や開発ブログ、Q&A、お客様の声などコンテンツが満載。

※画像はイメージです。予告なく変更する場合があります。

<http://kojo-seiko.co.jp>

KOJO

検索

製品に関するお問い合わせはこちら

株式会社 光城精工 電源事業部

Eメール アドレス **sales@kojo-seiko.co.jp**

テレフォン **0172-43-0050**

受付時間（祝日を除く月～金／9：00～17：00）

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※おかけ間違いのないようご注意ください。



〒036-0164
青森県平川市松崎西田43-4
Tel.0172-43-0050

KOJO TECHNOLOGY



安全にお使い
いただくために

- ご使用前に取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 表示された正しい電源・電圧でお使いください。

●お求めは信用のある当店で